

報道機関各位

発信日	令和4年8月12日	担当者名	角丸 公康
担当課	総務課（防災係）	電話番号	0942-85-3506

県消防操法大会で10年ぶり3回目の優勝! 全国大会へ!

鳥栖市消防団が市長表敬訪問

事業内容	<p>7月31日（日曜日）に佐賀県消防学校で開催された第37回佐賀県消防操法大会「ポンプ車操法の部」において、鳥栖市消防団（筑紫廣志団長）が10年ぶり3回目の優勝を見事に成し遂げました。これにより、10月29日（土曜日）に千葉県消防学校で開催される第29回全国消防操法大会に、佐賀県を代表して出場することが決定しました。</p> <p>また、開催された同大会の個人表彰として、山中誠一郎さん（1番員）、重松貴征さん（2番員）、内田晋さん（4番員）の3人が優秀選手賞を受賞されました。この賞は、大会の各役職において、最も優れた選手に贈られるものです。</p> <p>鳥栖市消防団からの出場隊である第2分団（久保山 豪 分団長）の選手は、鳥栖消防署の指導をいただき、また、株式会社オーム電機 九州事業所（冬野 美由紀 所長）のご厚意により、同事業所の駐車場を訓練場所として提供いただき、充実した環境で連日訓練を重ねています。</p> <p>【優勝報告（市長表敬訪問）】</p> <ul style="list-style-type: none">●日時 8月19日（金曜日）11時00分から●場所 鳥栖市役所 2階 第1会議室●訪問者 鳥栖市消防団第2分団（久保山 豪 分団長、選手6名） <p>【選手紹介】</p> <p>指揮者：近藤 信也さん、1番員：山中誠一郎さん、2番員：重松貴征さん 3番員：有園俊太さん、4番員：内田晋さん、補助者：川口幸夫さん</p> <p>【消防操法とは】</p> <p>迅速かつ的確に消火活動を行うため、ホース延長や放水など、実際の火災を想定して行う実践的な訓練です</p> <p>【佐賀県大会出場消防団（4団体）】</p> <p>佐城地区：佐賀市消防団、松浦地区：唐津市消防団 三神地区：鳥栖市消防団、杵藤地区：白石町消防団</p>
------	--

添付資料	第37回佐賀県消防操法大会実施要綱
------	-------------------

関連サイト	鳥栖市消防団が佐賀県消防操法大会で優勝!!（鳥栖市ホームページ） https://www.city.tosu.lg.jp/soshiki/2/46453.html
-------	---

第 3 7 回佐賀県消防操法大会実施要綱

1 目 的

地域において消防防災活動の要となる消防団員が、日ごろの訓練の成果を発表し、消防技術の向上と士気高揚を図ることにより、地域防災体制の充実強化に資することを目的とする。

2 日 時

令和 4 年 7 月 3 1 日 (日) [予備日 : 令和 4 年 8 月 7 日 (日)]

集合時間 午前 8 時 3 0 分

開会時間 午前 1 0 時 3 0 分

3 開催場所 佐賀県消防学校 (佐賀市兵庫町瓦町 4 3 5 番地 1)

4 主 催 佐賀県・公益財団法人佐賀県消防協会

5 後 援 (予定)

財団法人日本消防協会・佐賀県市長会・佐賀県町村会・佐賀県市議会議長会
佐賀県町村議会議長会・佐賀県市町総合事務組合・佐賀県消防長会

6 大会役員 別紙参照

7 競技種目

(1) ポンプ車操法の部 (出場予定 4 隊)

8 出場隊数

出場隊は、それぞれの次の地区から選抜された隊とする。

佐城地区 松浦地区 三神地区 杵藤地区

9 出場隊員の資格

出場隊員は、出場する消防団に属する者であること。

10 審査及び表彰

(1) 別に定める操法審査要領により審査し、順位を決める。

(2) 入賞は、1 位のみ。

11 審査員 別紙参照

12 操法要領 別に定める操法実施要領による。

13 出場隊の服装等 別に定める操法審査要綱による。

14 そ の 他

この要綱に定めのない細部の事項については、別に定める実施要領等による。

別紙

1 大会役員

会 長	佐賀県	知事	山口	祥義
副会長	佐賀県消防協会	会長	陣内	成和
”	佐賀県政策部危機管理・報道局	局長	野田	嘉代子
参 与	佐賀県消防協会	副会長	秀島	寛
”	”		松尾	祐治
”	”		筑紫	廣志
”	佐城地区消防協会	会長	下村	一寿
”	松浦地区消防協会	会長	松尾	祐治
”	三神地区消防協会	会長	菰方	重広
”	杵藤地区消防協会	会長	古賀	健則
”	佐賀広域消防局	局長	片淵	義孝
”	唐津市消防本部	消防長	青山	幸生
”	伊万里・有田消防本部	消防長	中島	徳夫
”	鳥栖・三養基地区消防本部	消防長	下田	辰也
”	杵藤地区消防本部	消防長	川崎	学

2 競技種目

ポンプ車操法の部

消防ポンプ自動車により操法・礼式の基準等に従いポンプ操法を行う。
標的に向け、ホース運搬、結合、放水を行い、的が倒れるまでの所要時間を測定。その間の操法・礼式とあわせて審査・採点する。

3 審査員(予定)

審査長	佐賀県消防学校校長	八谷 幸浩
副審査長	佐賀県消防学校副校長	水田 和彦
審査員	各消防本部職員、佐賀県消防学校職員	